

ミローバ グローバル・サステナブル株式ファンド  
追加型投信／海外／株式

# インパクトレポート2021

■ 設定・運用

 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

商号等 / 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301号  
加入協会 / 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

■ 外貨建資産の運用

  
mirova  
Investing in sustainability

ミローバ・ユーエス・エルエルシー

- 本資料は、「ミローバ グローバル・サステナブル株式ファンド」の運用戦略、環境、社会に与える影響等について、ご説明するために作成したものです。
- 当ファンドの外貨建資産の運用を行うミローバUS社(米国)のグループ会社であるミローバ社(フランス)が作成した、インパクトレポートの抜粋を含みます。
- 当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。
- 本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。
- 本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。
- ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。
- 当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。

2022-12-74

## 序文



ジェンズ・ピアーズ, CFA\*

ミローバUS CEO兼CIO \*\*

# 振り返りと今後の見通し

2002年は、ライフスタイルの環境・社会的な限界が、それまでサインを見過ごしていた人々にも、痛みを伴って明らかになった年になりましたが、2021年は更により明らかになりました。パンデミックは、新たな変異種の出現とともに、不平等をさらに深刻化させました。自然災害は、人的・経済的悲劇を引き起こしました。南欧とカリフォルニアの山火事、ドイツ、オーストリア、ベルギーの洪水、そしてハリケーン「アイダ」は、今年の気候変動に関連した災害の主要な例であり、合わせて1,000億ドルを大きく超える経済的コストをもたらしました。

2021年は、長い間待望されていたCOP26の年でもありました。その機会に、アントニオ・グテーレス国連事務総長は、「パリ気候協定からの過去6年間で記録上で最も暑い6年間でした。化石燃料への依存は、人類を瀬戸際に追いやっています。」と強調し、世界中のリーダーたちに行動を起こすよう促しています。

地球温暖化を2℃未満に抑え、SDGsの目標達成に貢献するために、ミローバは投資家を含め、すべての人々が果たすべき役割を持っています。このことはミローバが、ミローバ・グローバル・サステナブル・エクイティ戦略を立ち上げた理由です。

## ミローバ・グローバル・サステナブル・エクイティ戦略—運用パフォーマンスとインパクトの追求を統合

ミローバ・グローバル・サステナブル・エクイティ戦略では、アロケーション戦略と意欲的な議決権行使方針を通じて持続可能性を支援することを目指しています。

もちろん、持続不可能な製品を提供する企業や持続可能性・リスク・マネジメントの質が低い企業への投資を避けることは重要です。しかしながら、ミローバの役割は、

より持続可能な世界へのトランジション(トレンド: 構造的変化)にソリューションを提供している企業に直接投資することでもあります。ミローバの投資テーマは、より持続可能な経済へのトランジション(トレンド: 構造的変化)から恩恵を受けている企業は平均的に他の市場の同業他社を上回るパフォーマンスをあげることが可能となる、というミローバの信念に基づいています。

ミローバ独自の、環境、社会、ガバナンスの要因の分析により、SDGsにプラスの貢献をしている企業へのエクスポージャーを最大化することができます。また、投資家は、資金の配分だけでなく、個々また集团的に、エンゲージメント活動を通じて市場参加者に影響を与えるかもしれないという考え方を支持しています。そのため、企業やプロジェクトリーダーとの継続的な対話を行い、実践の改善や、より持続可能なビジネスモデルへのトランジション(トレンド: 持続的変化)を促進・支援しています。更に、ミローバの議決権行使方針は、当該方針と長期的に共通する価値の創造に焦点を当てた企業ビジョンが生み出されていくことを目指しています。

## 今後の見通し

ミローバは、企業への投資を通じて、より環境にやさしい経済とより共生的な社会へのトランジション(トレンド: 持続的変化)を可能にすることで、今日の選択が将来に悪影響を与えることがないようにし、ミローバが直面する課題に取り組むことを目指しています。



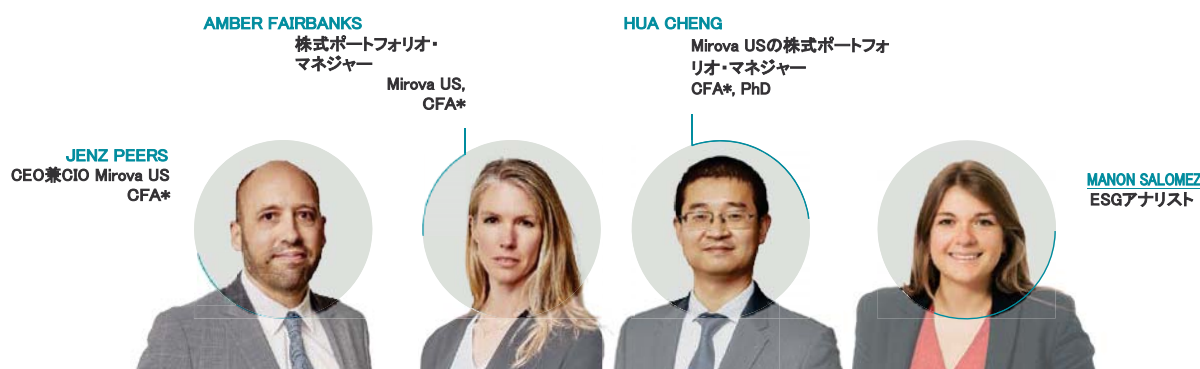
# 明日へ向けた ポートフォリオの トランジション (トレンド: 構造的変化)



## チームの概要、投資哲学、投資プロセス

### チーム概要

当ファンドは、ミローバUSのジェンス・ピアーズ(Jens Peers)、ホワ・チェン(Hua Cheng)、アンバー・フェアバンクス(Amber Fairbanks)の専門家により運用されています。平均19年の経験を有し、運用マネジメントと財務分析の面で確固たる実績を有しています。また、15名以上のアナリスト(2021年12月31日現在)を擁するサステナビリティ・リサーチ・チームの専門的知識からも恩恵を受けています。このチームの中で、マノン・サロメズ(Manon Salomez) はミローバ・グローバル・サステナブル・エクイティ戦略のESGアナリストとしての役割も担っています。

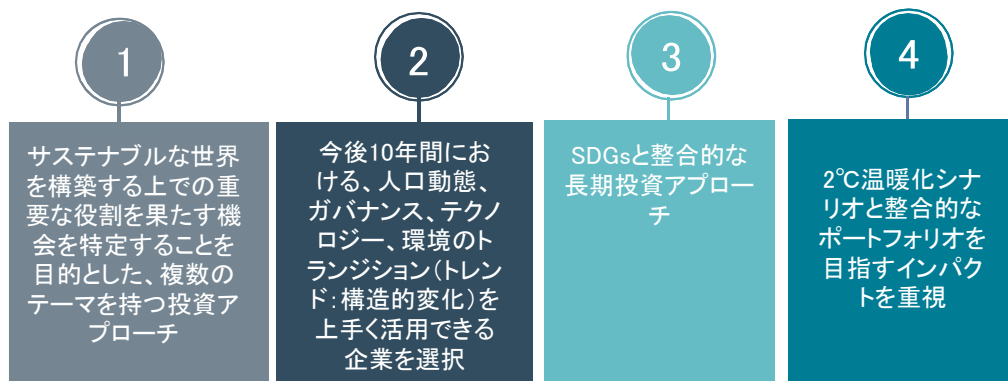


### 投資哲学

ミローバは、サステナビリティ中心の資産運用会社として、今後10年間、世界経済における循環にかかわらず起こるトレンドを見えています。海面の水位は上昇を続け、淡水の自然資源はますます希少化し、人々の寿命はより長くなり、技術革新は世界における相互作用とビジネスの方法を変え続けます。特に、こうしたトレンドは機会とリスクを生み出します。ミローバは、こうしたトランジション(トレンド: 持続的変化)がもたらす需要に対してソリューションを提供する企業に投資する一方で、ビジネスモデルがこうしたトランジション(トレンド: 持続的変化)からマイナスの影響を受ける企業への投資は避けたいと考えています。

ミローバの投資哲学は、人口動態、環境、テクノロジー、ガバナンスの4つの大きなトランジション(トレンド: 構造的変化)が世界経済を形づくるという考え方に基づいています。人口増加、都市化、新興国における中流階級の増加、高齢化、人工知能やデータの普及などの技術の進歩、自然資源の枯渇、気候変動、金融システムの変化などが、この大きなトランジション(トレンド: 持続的変化)の要因となっています。また、ミローバの投資哲学は、市場がこうした長期的なトレンドに支えられた成長機会を過小評価し、またサステナビリティを害する慣行に関連するリスクを過小評価しているという考えにも基づいています。

#### 当戦略の主なポイント



\* CFA®およびChartered Financial Analyst®は、CFA Institute が所有する登録商標です。

変化する世界における4つのトランジション(トレンド: 構造的変化)



## 投資プロセス

投資プロセスには4つの重要なステップがあります。

### テーマ分析

ミローバの投資プロセスにおける最初のステップは、世界経済の大きなトランジション(トレンド: 構造的変化)-人口動態、環境、テクノロジー、ガバナンス-に解決策を提供する企業による上場株式のグローバルなユニバースをテーマに基づき分析することから始まります。ミローバのアナリストが長期的なトランジション(トレンド: 構造的変化)を分析することにより、ポートフォリオの運用チームは、将来の経済の中でどのような事業が重要な役割を持つことになるかを理解することができます。

### 企業分析

第二のステップにおいては、ミローバのチームメンバーは、強固な財務構造、優れた経営陣を持ち、強い持続可能な競争優位性から恩恵を受ける企業を選択し、大きなリスクのある企業を回避するために、詳細なファンダメンタルズ調査を行います。企業分析は、サステナビリティ・リサーチ・チームが実施し、その調査意見書にファンダメンタルズ調査により行われます。サステナビリティ・リサーチ・チームの分析に基づくESGに係る洞察により、

株式運用チームは、経営陣の質、ガバナンスとインセンティブ・スキーム、財務・収益状況といった企業の競争優位性や競争環境の分析に注力します。

### 株式評価

投資プロセスの第三ステップは、株式評価となります。ミローバのチームでは、企業のファンダメンタルズを基に今後3年以上の損益、多くは5~10年の期間の予測を行います。本源的価値は、通常、マルチプル法も用いたDCF法により算出されます。ミローバは、本源的価値に対して20%以上割安な株価で取引されている株式にのみ投資します。

### ポートフォリオ構築

SDGsに好影響を与える企業へのエクスポージャーを最大化するとともに、その活動や製品がSDGsに悪影響を与える、あるいはその達成に対するリスクをもたらす企業を避けるよう努めています。その結果、インデックスに基づき計測される市場全般の状況よりも、環境・社会的により望ましいプロフィールを効果的に達成しています。更に、ミローバは、2015年のパリ協定における2°C未満の温暖化目標と統合的なポートフォリオになるようにコミットしています。

まとめさせて頂くと、ミローバ・グローバル・サステナブル・エクイティ戦略は、よりサステナブルな未来に向けての、確信度の高い、個別銘柄選択に基づく、複数のテーマの観点をもつポートフォリオとなっています。その結果、ミローバはインデックスで測った広範な市場よりも、はるかに優れた環境・社会プロフィールを効果的に達成しています。さらに、ミローバは、2015年のパリ協定で定義された2°C未満の気候軌跡と統合的な投資ポートフォリオを構築することにコミットします。

以上を要約すると、ミローバ・グローバル・サステナブル・エクイティ戦略は、より持続可能な未来に向けた、確信度の高い個別銘柄選択中心の複数テーマ型ポートフォリオです。

## マーケット・レビュー

2021年は、ボラティリティが高いにもかかわらず、世界の株式投資家にとって、総じて非常に好調な年となりました。

低金利と中央銀行による債券購入プログラムを通じたサポートは、経済と市場に対して殆ど限度のないレベルでのマネーサプライをもたらしました。

上記のことは株式市場、特にグロース・セクターと米国市場全般におけるバリュエーションを押し上げてきました。そして、インフレと好ましい低金利環境がまもなく終わりとなるという懸念が、2021年中のセクターとスタイルのローテーションにつながりました。

伝統的なエネルギー企業と銀行は、石油価格の上昇と金利の上昇も相まって、最も恩恵を受けました。再生エネルギー企業の株式は、相対的に高いバリュエーションの状況で2021年を迎え、大幅なアンダーパフォームとなりました。サプライチェーンの問題(原材料価格のインフレと輸送の問題)と相まって、石油・ガス企業との競争が激化し、風力発電セクターではマージンがさらに悪影響を受け、カリフォルニア州で提案されたあまり好ましくない規制は、太陽光発電企業に悪影響を与えました。グロース株は全般的に好調な業績を示しましたが、大型テクノロジー株の多くは、賃金インフレやサプライチェーンの問題から影響を受けました。

現実の世界では、自然災害は人的・経済的悲劇を引き起こしました。南欧とカリフォルニアの山火事、ドイツ、オーストリア、ベルギーの洪水、そしてハリケーン「アイダ」は、今年の気候変動に関連した災害の主要な例であり、合わせて1,000億ドルを優に超える経済的コストをもたらしました。中国の不動産開発会社 恒大集団は2,600億米ドルの負債を抱え、財務上、困難な状況に陥っていることが、9月になってから明らかになりました。また、リーマンのようなシナリオへの懸念から、世界的に株価は急速に下落しました。

他の市場では、石油・ガス価格は、需要が増加する一方で供給は増加せず、上昇基調が続きました。このことは、英国の公益セクターにおけるいくつかの企業の倒産を引き起こしました。輸送セクターにおけるドライバーの不足と多くのセクターにおける従業員の全般的な不足が、供給不足と賃金インフレを生み出しました。これらの全てにも関わらず、先進国市場の利益成長は平均して2021年は予想を上回り、世界の株式市場は11月に史上最高水準に押し上げられました。しかしながら、COVID-19ウィルスのオミクロン変異株に関する懸念から、一部の経済が再びロックダウンに陥るなど、高いボラティリティにより、2021年の株式相場は、年始の水準で終わりました。





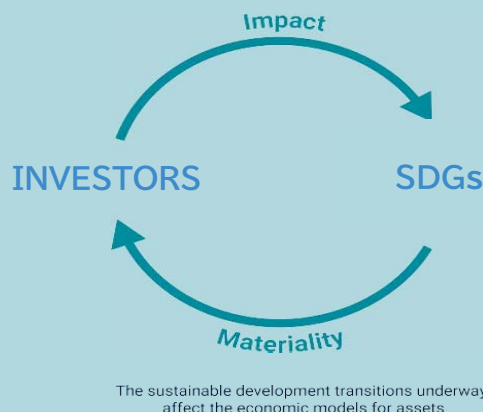
## ESG評価原則

### ダブル・マテリアリティのコンセプト

ミローバが2012年に創設されて以来、ミローバは財務的なパフォーマンスとよりサステナブルな経済の実現への貢献を両立させることを中心的な目的としてきました。そこで、ESG基準による財務的な影響を評価するだけでなく、投資対象資産の環境的・社会的なインパクトについての報告も目的としたESG評価のフレームワークを考案しました。このアプローチは、欧州委員会が提唱したダブル・マテリアリティの原則と整合的です。

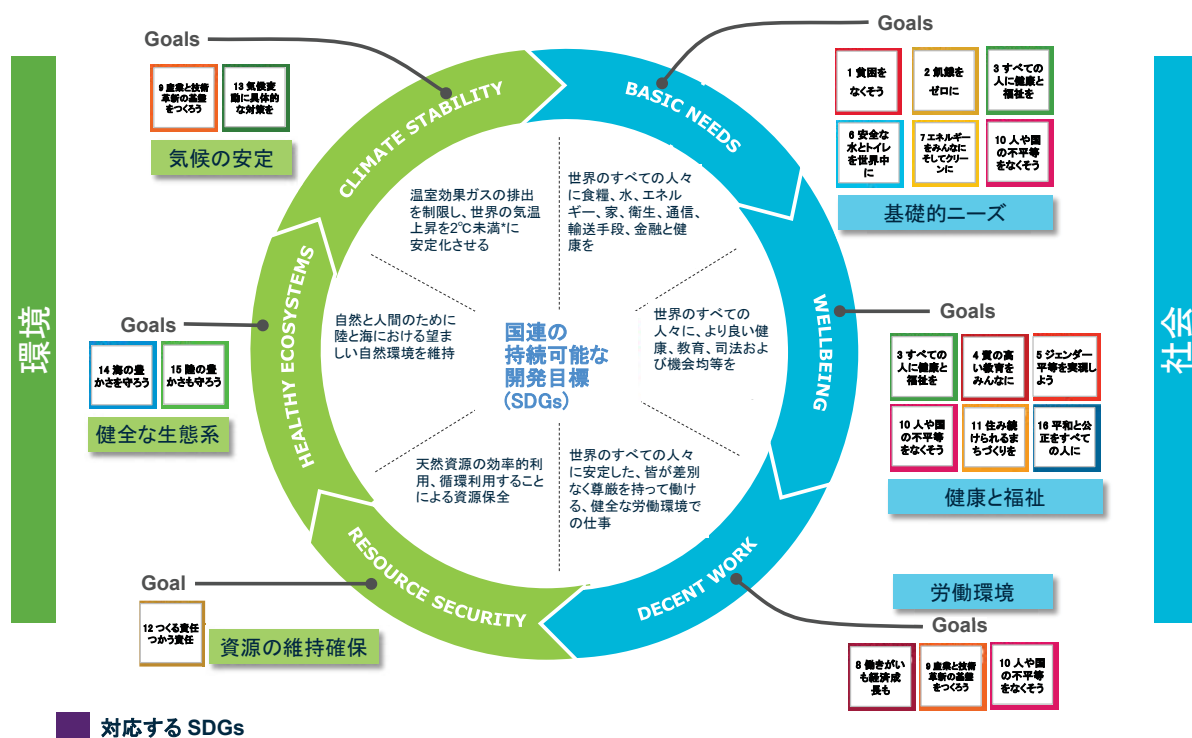
出所:ミローバ

Investor consideration of Environmental and Social issues accelerates achievement of the SDGs



## 6つのインパクトのピラー(柱)

ミローバは、インベストメント・リーダーズ・グループがケンブリッジ大学のサステナビリティ・リーダーシップ・インスティテュートと提携して開発したインパクト・フレームワークに従います。このフレームワークは、SDGsと直接的に結びついた6つの環境的・社会的なピラー(柱)によって、企業が非財務的分析とモニタリングを構成することを推奨しています。



\* パリ協定に関して定められた行動計画、1850年から2100年までの間で、地球の平均気温で超えてはならない気温上昇分に相当。



## エンゲージメント・ポリシー

ミローバは責任ある投資家として、すべてのステークホルダーに利益をもたらす長期的な成長の必要条件として、ポジティブなインパクトを生み出し、持続可能な開発を促進することを目指しています。

この目的を達成するために、ミローバはエンゲージメントに対する野心的かつ積極的なアプローチを定義しています。ミローバの持っている専門的ノウハウにより、多くの様々なセクターで当社の影響力を活用し、国連SDGsの目標に沿った企業戦略を促進することができます。また、ミローバの議決権行使は、長期的な集合的価値の創造に焦点を当てた企業ビジョンの創出を促し、ミローバは毎年企業とのエンゲージメントに関わっています。

### 2021年 & 2022年のエンゲージメントの優先事項

ミローバのサステナビリティ分析手法に沿って、グローバル・サステナブル・エクイティ・ポートフォリオに組み入れられている企業に対し、気候変動や社会的不平等に取り組むための解決策の開発を奨励し、企業活動の好ましくない影響を緩和するためのサステナビリティ・リスク管理プロセスの質を確保するよう促します。2021年において、衛生・経済上の危機は、エンゲージメント並びにミローバの様々なステークホルダーとの強固な対話を維持するための強力な推進力であり続けました。また、短期的な適応並びに支援策の確保、長期的な回復力の鍵の見極めの両方を、優先事項としてきました。

毎年の初めに、ミローバは、ポートフォリオに組み入れられているすべての企業とエンゲージメントの優先事項を共有しています。これらの優先事項は、サステナビリティ・リサーチ・チームによって毎年更新され、全セクターのすべての組み入れ企業に適用されます。その目的は、年に1回以上、すべての組み入れ企業とコンタクトすることです。また、深化されたエンゲージメント活動は、当該年度を通じて実施されています



インパクトの測定と  
ディスクロージャー



サステナビリティの  
ガバナンス



共有価値の創造



人権



ジェンダーの多様性



気候変動



生物多様性

## 2021年エンゲージメント活動

年次総会の関係で行われるエンゲージメントを含む

### 実行中のエンゲージメント:

#### サーモ・フィッシャー

人権は、一部の企業の製品の誤った利用により侵害される可能性があり、ミローバは、それを回避するための意味のある方針および措置の実施を期待しています。サーモ・フィッシャーは、2019年に、地方当局により組織化された大規模監視プログラムのための、新疆ウイグル地区(中国)へのDNA検査装置の販売を中止すると発表しました。そうした決定は、これらの製品が地方の人々に対して悪用されることがないようにするために必要なものであると思われましたが、それにもかかわらず、関連するすべてのリスクに対処するのに十分であるとは考えられませんでした。

ミローバは、同社が製品の意図した用途の多様化のリスクに適切に対処しているという証拠を提供してもらうために、年間を通じ、同社に対し繰り返しエンゲージメント活動を行いました。このテーマは、主要役員とライフサイエンスや診断事業、法務・広報部門を代表するリーダーにより構成される生命倫理委員会に取り上げられたことを確認しました。生命倫理委員会の中心的な目標は、サーモ・フィッシャーが透明性のある、倫理的なビジネス慣行に従い続けることを確実にすることです。数度の有益な議論を経て、同社と、販売会社の要件、トレーニング、コンプライアンスプログラムなど、直接・間接の購入者による責任ある利用を確保するための方針を明確にする文書を共有化しました。なお、上記で言及した銘柄はあくまでも例示的な目的のためであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

#### シムライズ

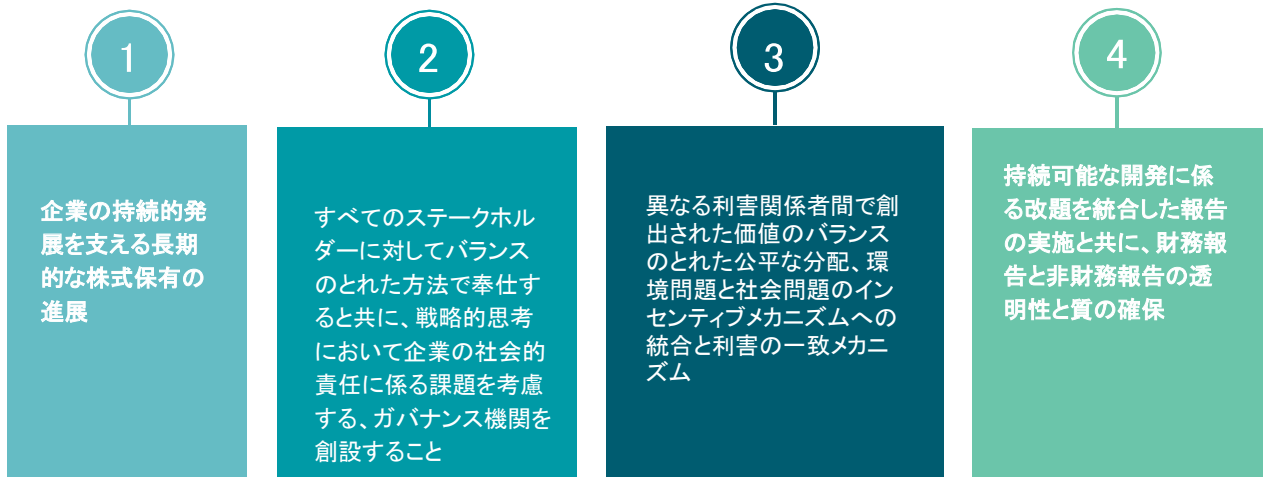
2021年に、ミローバは、シムライズといくつかのテーマでエンゲージメント活動を行いました。その中でも、シムライズには、最高経営幹部の長期報酬体系に財務数値基準を統合することの検討、報酬体系の具体的内容(目標、ウェイト)の開示レベルを高めることの検討、取締役会レベルでの独立したサステナビリティ委員会(シムライズにはサステナビリティ委員会はありません)を設けることを促しました。

インパクト評価手法の開発は、あらゆる産業にとって(企業がSDGsの目標に如何に貢献しているかを示すことができるための)、サステナビリティに関する主要な課題です。そのため、シムライズのプロダクト・サステナビリティ・スコアカードのような手法の開発は興味深いものですが、もっと公開すべきものと考えています。したがって、ミローバは、シムライズに対しては、この手法の開示レベルを高め、可能であれば、オープンソース化し、業界全体が一貫した方法で進み、外部の関係者(投資家など)が批判的な目で結果を読み取れるようにすること(数字の背後に何があるのかを理解すること)を促しました。なお、上記で言及した銘柄はあくまでも例示的な目的のためであり売買の勧誘を目的としたものではありません。

## 議決権行使方針

ミローバは、すべてのステークホルダーのためのサステナブルな価値創造に向け、責任投資戦略に沿った議決権投資方針を策定しました。ミローバは、議決権行使の決定は、すべてのステークホルダーの最善の利益、並びに、企業によって創出される富は、環境・社会的課題を十分に踏まえ、長期的時間軸に基づき定義されるべきものという理解を、考慮すべきであると考えています。

### 議決権行使の指針となる4つの原則:



## 議決権行使

また、2021年は、ミローバが2つの投資先企業において株主総会決議議案を提案した最初の年となりました。

ミローバは、2021年に米国に拠点を置くインタラクティブ・メディアサービスの企業において、初めてとなる株主提案を共同提案し、同社の内部通報者に係る方針と慣行に関する調査と報告書の作成を要請しました。この要請は、元従業員が誤って取り扱われた申し立てや通報者に係る解雇の乱用に関する元従業員の度重なる申し立てを踏まえ行われました。ミローバは、提案者としては、人工知能技術の非倫理的な使用、人権侵害の可能性、ジェンダーと人種の正義に対する職場の脅威の可能性、といった潜在的に非倫理的な事業についての懸念を表明した従業員に対して同社が報復措置をとったことにより、同社の人事管理について特に懸念を持ちました。

ミローバは、同社との協議を重ねた後、対応をエスカレートする戦略に従い、株主が利用できる次の手段として、この議案を共同提案しました。創業者と経営陣による資本の効果的なコントロール、議決権行使会社であるISSによる否定的な株主投票勧告にも関わらず、株主投票の10%は好意的なものでありました。しかしながら、同社グループは、ミローバが他の投資家と共同で、また株主議案の提案を通じて、同社との直接的な協議をしようと努力しているに関わらず、建設的な対話を行うことには依然として消極的です。このような面を考慮すると、ミローバとしては、同社からの抜本的な改善は期待できないと判断し、同社の株式を売却しました。

## 2021年 議決権行使統計

37%

反対票のあった決議の割合

96%

反対票のあった会社の割合

出所:ミローバ  
2021

2021年は、議決件数、会社数において、ミローバが反対または棄権した議案の割合は前年に比べてやや高まりました

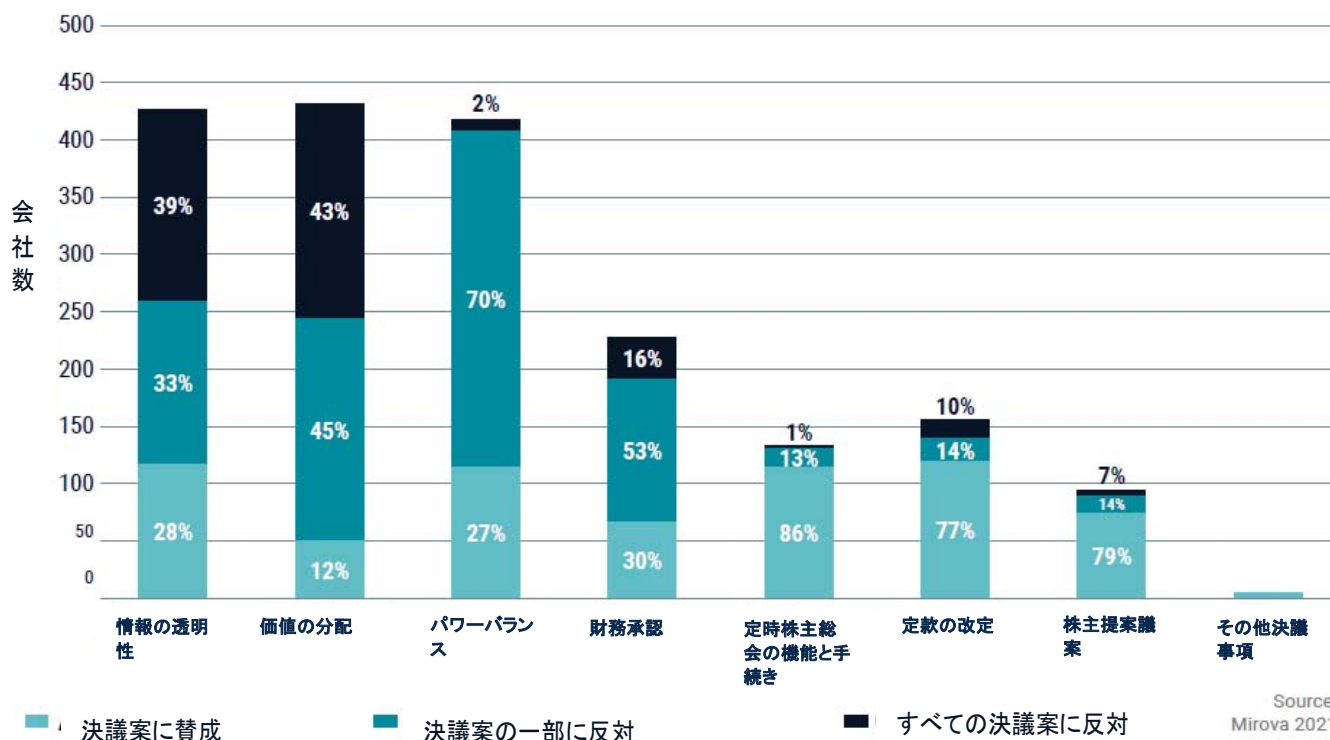
この反対議案数の増加は、世界的な健康危機によって悪化した社会経済的不確実性の中で、ミローバが配当政策の妥当性について一層のフォーカスを行ったことによるものです。

2021年は、「価値の分配」のテーマに係る議案への反対率が大幅に増加しましたが、これは経営陣の報酬制度に環境的・社会的基準が統合されることを期待しているためです。

2020年と比較すると、「パワーバランス」のテーマに係る議案への全般的な反対率は、55%から72%へと大幅に増加しました。ミローバは、2021年に議決権行使方針を修正し、役員会の議長に反対票を投じるだけでなく、ESG基準が満たされない場合には、そのメンバーにも反対票を投じることにしました(例えば、取締役会における女性の割合が最低40%、従業員代表の存在、役員報酬におけるCSR基準の欠如など)。

「株主提案議案」のテーマに関しては、2021年における205件の株主提案議案に対して、ミローバは見解を示しました(2020年は264件)。2021年には株主提案議案数は増加しましたが、年次総会前に取り下げられた議案数も最大の増加数を記録しました。これが前年対比での減少の要因となっています。

### 2021年のテーマ別投票数:



上記は、当ファンドと類似の投資戦略でミローバによって運用されている外国籍投資信託「Mirova Global Sustainable Equity Fund」のものであり、一部当ファンドの内容とは異なります。



# 明日の企業

## 2021年12月31日現在の上位組入銘柄

### マイクロソフト

マイクロソフト社は、クラウド提供、人工知能、サーバー、生産性向上アプリケーション、オペレーティングシステム、ゲームなどにイノベーションの焦点を当てています。また、マイクロソフト社は、環境的・社会的便益をもたらす可能性のある製品を提供しており、多くの主要なサステナビリティの課題に関する先進的な取り組みを行っています。

国連SDGsに対するエクスポージャー

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
--------------	-------------------	-----------------

- ▶ ESG評価  
ポジティブ
- ▶ 業種  
ソフトウェア・サービス
- ▶ トランジション(トレンド: 構造的変化)  
テクノロジー、デジタル化
- ▶ SDGsピラーへの貢献  
「気候の安定」、「労働環境」

### サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック

サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック社は、ライフサイエンス事業の世界的リーダーであり、ラボラトリー製品・サービス、ライフサイエンス・ソリューション、特殊診断、分析機器を専門としています。同社の製品は、学術・公共分野やヘルスケア分野の顧客を対象に、科学研究(特に次世代シーケンサー分野を通じたゲノム研究)の推進や、食品、農業、環境分野の顧客も対象とした付加価値分析ツールの提供など、環境・社会面で大きな利益を生み出しています。

国連SDGsに対するエクスポージャー

3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	13 気候変動に具体的な対策を
----------------	----------------------	-----------------

- ▶ ESG評価  
ポジティブ
- ▶ 業種  
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
- ▶ トランジション(トレンド: 構造的変化)  
人口動態、医療ニーズ
- ▶ SDGsピラーへの貢献  
「健全な生態系」、「基礎的ニーズ」、「健康と福祉」

### マスターカード

マスターカード社は、他の企業や機関と協力して、金融へのアクセスが困難なグループに対する金融サービスの提供(ファイナンシャル・インクルージョン)を促進するイニシアチブをサポートしています。持続可能な消費パターンを支える商品が更に開発されています。マスターカード社は、事業活動における気候変動とエネルギー消費に取り組む姿勢も強化しています。また、データ保護に関する詳細な方針が制定され、データ保護と顧客のセキュリティを確保するためのいくつかの方策が実施されています。

国連SDGsに対するエクスポージャー

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
--------------	-------------------

- ▶ ESG評価  
ポジティブ
- ▶ 業種  
ソフトウェア・サービス
- ▶ トランジション(トレンド: 構造的変化)  
テクノロジー、デジタル化
- ▶ SDGsピラーへの貢献  
「基礎的ニーズ」

記載されている情報は、本文書発行日現在におけるMirovaの意見や状況を反映したものであり、予告なく変更することがあります。本書は運用指図権限の一部を委託するミローバ社のグローバル・サステナブル戦略の理解を深めていただくため、紹介したものです。したがって上記で言及した銘柄は、あくまでも例示的な目的のためであり売買の推奨や勧誘を目的としたものではありません。例示的な説明のためのものです。



## 2021年12月31日現在の上位組入銘柄

### イーベイ

消費者間の電子商取引プラットフォームを提供することで、イーベイ社のビジネスモデルは製品の再利用を促進し、従って、より持続可能な消費方法を促進しています。また、事業活動にともなう社会的・環境的課題にも適切に対応しています。

国連SDGsに対するエクスポージャー

12  
つくる責任  
つかう責任

- ▶ ESG評価  
ポジティブ
- ▶ 業種  
小売
- ▶ トランジション(トレンド:構造的変化)  
テクノロジー、デジタル化
- ▶ SDGsピラーへの貢献  
「資源の維持確保」

### ダナハー

ダナハー社の製品群には、病気の診断・治療に関連した製品で、持続可能性の観点からポジティブな貢献をするものが多く含まれています。サステナビリティ報告に関する同社の改善は望ましく、大いに促進されています。一般的に、同社は基本的なコミットメントのレベルにあり、主要なリスクを特定しています。その中で、同社は定量化情報の提供量を改善することができました。

国連SDGsに対するエクスポージャー

3 すべての人に健康と福祉を  
6 安全な水とトイレを世界中に

- ▶ ESG評価  
ポジティブ
- ▶ 業種  
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
- ▶ トランジション(トレンド:構造的変化)  
人口動態、医療ニーズ
- ▶ SDGsピラーへの貢献  
「基礎的ニーズ」、「健康と福祉」

### エコラボ

エコラボの活動は、水利用の効率化、廃棄物処理、衛生設備、衛生の向上を実現するソリューションを提供することで、資源の安全確保と豊かさに明らかに貢献しています。会社のリスク管理は十分かつ比較的堅固であり、適切な方針が整備されています。また、事業遂行に伴う直接的なインパクトを減少させると共に、事業遂行上の衛生・安全面に関して良好な実績をあげています。

国連SDGsに対するエクスポージャー

3 すべての人に健康と福祉を  
6 安全な水とトイレを世界中に  
12 つくる責任  
つかう責任

- ▶ ESG評価  
ポジティブ
- ▶ 業種  
素材
- ▶ トランジション(トレンド:構造的変化)テーマ  
環境、廃棄物&水
- ▶ SDGsピラーへの貢献  
「資源の維持確保」、「健康と福祉」

記載されている情報は、本文書発行日現在におけるMirovaの意見や状況を反映したものであり、予告なく変更することがあります。本書は運用指図権限の一部を委託するミローバ社のグローバル・サステナブル戦略の理解を深めていただくため、紹介したものです。したがって、上記で言及した銘柄は、あくまでも例示的な目的のためであり売買の推奨や勧誘を目的としたものではありません。例示的な説明のためのものです。

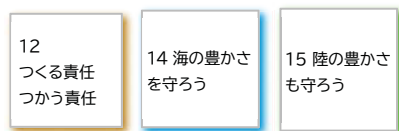
## 2021年12月31日現在の上位組入銘柄

### シムライズ

シムライズ社は、香料・香水の生産者として、再生可能な原材料により、化粧品の石油化学原材料への代替原材料を供給し、また、土地利用の減少につながる植物性たんぱく質活用による食生活の変化を可能にすることで、気候の安定性と生物多様性の保全に大きく貢献しています。影響の大半はサプライチェーンの上流に位置するものですが、同社は、小規模農家の環境再生型農業へのトランジション(トレンド:持続的变化)支援、また、紙産業・鶏肉産業の廃棄物の循環利用への支援により、リスク軽減を目指す包括的アプローチを採用しています。

- ▶ ESG評価  
コミット
- ▶ 業種  
素材
- ▶ トランジション(トレンド:構造的変化)  
人口動態、生活の質
- ▶ SDGsピラーへの貢献  
「資源の維持確保」、「健康と福祉」

#### 国連SDGsに対するエクスポージャー

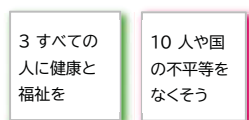


### ノボ・ノルディスク

ノボ・ノルディスク社の製品群における主要なものは糖尿病を対象としていますが、糖尿病は、広範な疾患であり、各国の全体的な健康比率に重大な影響を及ぼします。同社は、この分野における主要なサステナビリティの課題に取り組み、研究開発段階での主要な課題を非常に上手く管理しています。社会の健康と福祉にコミットすることで、消費を最小限に抑え、サプライチェーンに循環を組み込むことを目指しています。

- ▶ ESG評価  
コミット
- ▶ 業種  
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
- ▶ トランジション(トレンド:構造的変化)  
人口動態、医療ニーズ
- ▶ SDGsピラーへの貢献  
「基礎的ニーズ」、「健康と福祉」  
「労働環境」

#### 国連SDGsに対するエクスポージャー

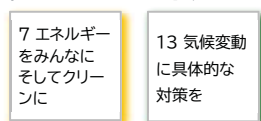


### アドビ

アドビ社は、製品およびサービスのITセキュリティの確保に向けた包括的な取り組みを実証しています。また、スタッフに関する問題については、差別のない企業を掲げ、機会均等・ダイバーシティ推進のためのいくつかの方策も実施しています。更に、ワーク・ライフ・バランスを推進するため、柔軟な勤務日程の設定や在宅勤務などの方策を実施しています。環境面では、アドビ社は、主に責任ある資源利用とデータセンター業務に係るエネルギー利用の効率管理に関連するリスクと向き合っています。

- ▶ ESG評価  
ポジティブ
- ▶ 業種  
ソフトウェア・サービス
- ▶ トランジション(トレンド:構造的変化)  
テクノロジー、デジタル化
- ▶ SDGsピラーへの貢献  
「気候の安定」、「労働環境」

#### 国連SDGsに対するエクスポージャー



記載されている情報は、本文書発行日現在におけるMirovaの意見や状況を反映したものであり、予告なく変更することがあります。本書は運用指図権限の一部を委託するミロバ社のグローバル・サステナブル戦略の理解を深めていただくため、紹介したものです。したがって、上記で言及した銘柄は、あくまでも例示的な目的のためであり売買の推奨や勧誘を目的としたものではありません。例示的な説明のためのものです。



## 2021年12月31日現在の上位組入銘柄

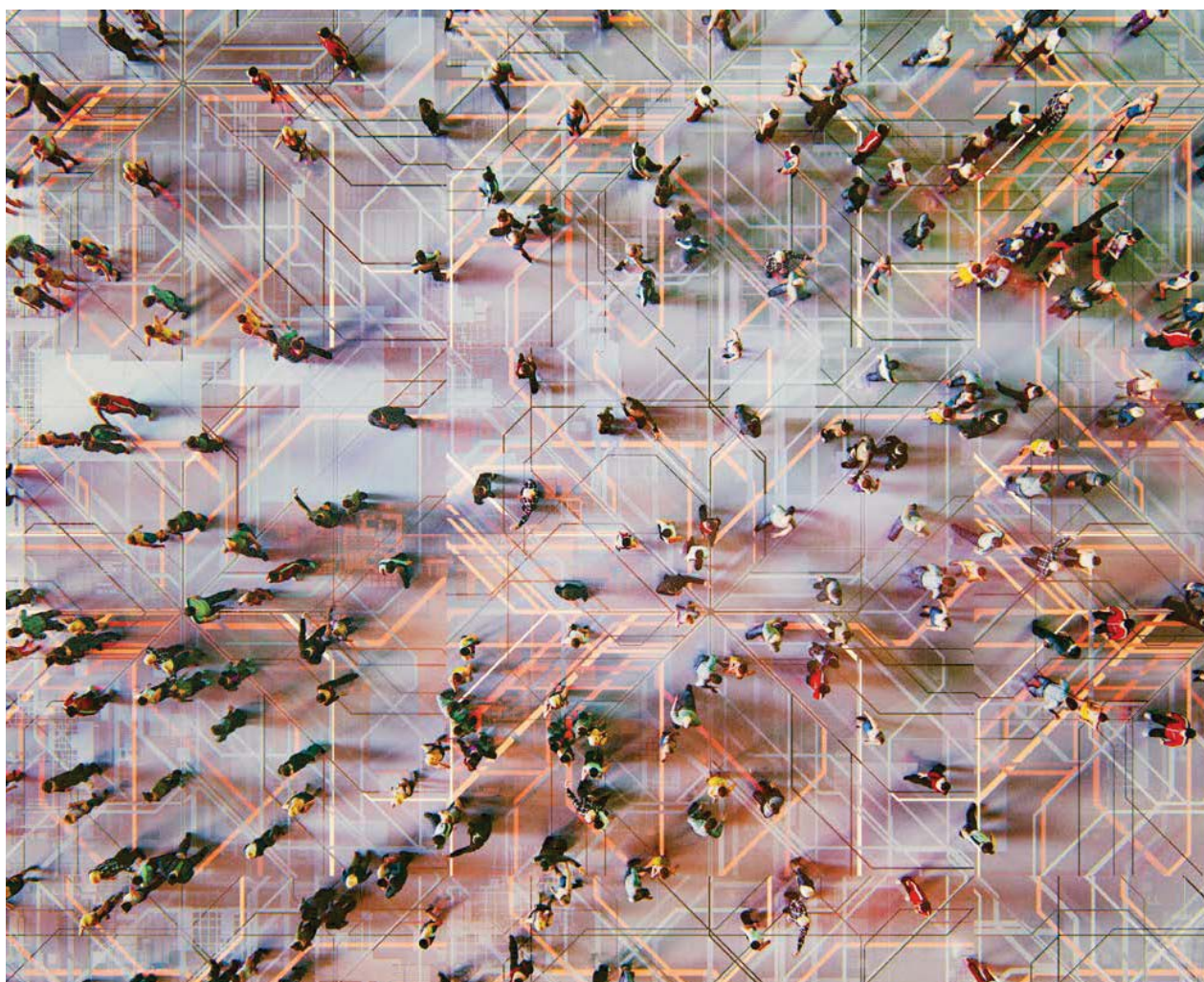
### ローパー・テクノロジーズ

ローパー・テクノロジー社の製品群に関しては、いくつかのソリューションは持続可能な開発の課題に対する固有の解決策となっていますが、他のソリューションの影響はそれほど明確なものではありません。持続可能な解決策から引き出される収益の割合を、正確に具体的に表すことは困難です。同社は社会的なリスクの管理には一定のコミットメントを示していますが改善の余地はあり、具体的には環境的側面に取り組むための経営体制に改善の余地があります。

- ▶ ESG評価  
ニュートラル
- ▶ 業種  
情報通信技術
- ▶ トランジション(トレンド: 構造的変化)  
人口動態、医療ニーズ
- ▶ SDGsピラーへの貢献  
「資源の維持確保」、「健康と福祉」

#### 国連SDGsに対するエクスポージャー

3 すべての  
人に健康と  
福祉を



記載されている情報は、本文書発行日現在におけるMirovaの意見や状況を反映したものであり、予告なく変更することがあります。本書は運用指図権限の一部を委託するミローバ社のグローバル・サステナブル戦略の理解を深めていただくため、紹介したものです。したがって、上記で言及した銘柄は、あくまでも例示的な目的のためであり売買の推奨や勧誘を目的としたものではありません。例示的な説明のためのものです。



## 2021年ポートフォリオ追加銘柄

# サンラン



## 環境

### 気候変動への取り組み

ミローバは、システムティックに、全ての投資戦略において、企業のトランジション(トレンド: 後続的变化)に対するコミットメントを考慮しています。

また、ミローバは、投資決定において、気候変動の課題に対して解決策を提供する企業への資金の意欲的な再配分についてコミットしています。

人間の活動から発生する温室効果ガス(GHG)は、気候に深刻な影響を与えます。SDGsでは、地球の気温上昇を2℃未満に十分に抑えるために不可欠なものとして、直ちに排出量を削減することを設けています。そのことにより、気候変動の最も深刻な結果を回避することができます。

ミローバは、この目標を達成するためには、以下のことにより、ミローバの経済構造を大きく変える必要があると考えています。

- ▶ 温室効果ガスの2/3近くを占めるエネルギーとの関係を  
変える必要があります。

- ▶ この変革を達成するためには、電力生産、輸送、建設、製造などのほとんどのセクターでの大きな変化を必要とします。

- ▶ 森林減少は、二酸化炭素の吸収源をなくすことになり、その影響は、気候変動のほぼ20%の部分を占めています。

温暖化効果ガスの排出量の約15%を占める、農業生産の方法と肉の消費の再考を必要としています。

\* 2021年Mirovaデータ \*\* <http://cait.wri.org/>

\*\*\* <http://cait.wri.org/>

- ▶ 主要数値: 太陽光発電100%
- ▶ ESG評価: ポジティブ
- ▶ トランジション(トレンド: 構造的変化): 人口動態
- ▶ 排出量削減への大きな貢献
- ▶ 模範的なジェンダー・ダイバーシティ・プラクティス

### ソリューション

サンランは、米国における住宅用太陽光発電システムのデザイン、開発、設置販売、メンテナンスを取り扱う会社です。同社は、自家所有者へ伝統的な公益エネルギーに対して非常に節約となる、クリーンな太陽光発電の電力を提供しています。同社の事業ポートフォリオは、完全に、太陽光発電プロジェクトと住宅関係顧客への関連サービスから成り立っており、それ故に、気候変動の緩和に明らかに貢献しています。同社は、米国のみで事業を行っており、職業上の健康・安全面に関しては相対的に高い基準が適用されています。サプライチェーンや製品寿命に伴う廃棄管理の面は、進捗を要する分野です。

記載されている情報は、本文書発行日現在におけるMirovaの意見や状況を反映したものであり、予告なく変更することがあります。本書は運用指図権限の一部を委託するミローバ社のグローバル・サステナブル戦略の理解を深めていただくため、紹介したものです。したがって、上記で言及した銘柄は、あくまでも例示的な目的のためであり売買の推奨や勧誘を目的としたものではありません。例示的な説明のためのものです。



# イーライリリー

医薬品への  
アクセス  
改善

医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

3 すべての人に健康と福祉を

## 医療ニーズへの対応

ミローバは、必要不可欠なサービスの提供を通じて、個人の状況改善にポジティブな貢献をする企業への投資を目指しています。さらに具体的に言えば、ミローバは、調査した資産がどの程度、保健サービスへのアクセスを有意義に高めるかを決定しようと試みています。国連は、2030年に向けた優先事項として、非感染症疾患による若年死亡率を1/3まで減少させることを定めました。非感染症疾患には、糖尿病を含み、予防と治療、並びにメンタルヘルスと福祉を促進することとしています。現在、肥満は21世紀の流行病と考えられており、WHOでは、世界的には2016年には19億人が過体重または肥満であり、そのうち6億5千万人が肥満(1975年以降で3倍)と推定しています。

## ソリューション

イーライリリーの事業ポートフォリオは、世界の健康にプラスに貢献しています。実際、2020年は5つの製薬が総売上上の50%を占め、1型2型糖尿病、進行非小細胞肺癌、免疫疾患の治療薬を扱っています。糖尿病治療薬は同社の売上高の約50%を占めています。イーライリリーは、いくつかの買収と並んで、例えば、がんやアルツハイマーのような未対応の医療ニーズに対応するための治療など、革新的な治療への取り組みを増加させています。

米国では、同社は2019/2020年にインスリン治療薬の非ブランド版を発売し、その定価は代替製品の50%未満となっています。こうした定価の引き下げが、どの程度反映され、実際に患者に利益をもたらすのかを把握することは、現在までのところ困難ではあります。

さらに、糖尿病治療薬のバイオ後発薬やジェネリック薬も、他の競合他社が開発することになるため、寡占状態は最終的には

打破される可能性が高いと思われます。当面の間は、最も特権のない患者(無保険者、高齢者、高額控除の対象となるプラン)にとっては、手頃な価格のプログラムが最低限のセーフガードになると期待しています。

- ▶ 主要数値: 医療用医薬品100%
- ▶ ESG評価: ポジティブトランジション(トレン
- ▶ ド: 構造的変化): 人口動態
- ▶ 健康増進への貢献
- ▶ ジェンダー・ダイバーシ
- ▶ ティ・プラクティスの顕著な実績

記載されている情報は、本文書発行日現在におけるMirovaの意見や状況を反映したものであり、予告なく変更することがあります。本書は運用指図権限の一部を委託するミローバ社のグローバル・サステナブル戦略の理解を深めていただくため、紹介したものです。したがって、上記で言及した銘柄は、あくまでも例示的な目的のためであり売買の推奨や勧誘を目的としたものではありません。例示的な説明のためのものです。



# メルカドリブレ



小売

- ▶ ESG評価: ニュートラル
- ▶ トランジション(トレンド:構造的変化): テクノロジー

メルカドリブレ社は、ラテンアメリカにおいて、Eコマース関連のサービスにフォーカスした、オンライン商取引プラットフォームを提供しています。ミローバのアナリストは、サステナビリティ関連の課題への対応に係る重要なエクスポージャーは確認していません。

実際、同社の収益に占める中古品販売による比率は、わずか(同社の収益の1~2%)です。また、同社は、プラットフォームを通じて、主に保証支払いサービスによる金融サービスを提供していますが、分割支払い、カード、ローンなどの金融ソリューションも提案しています。しかしながら、サービスが行き届かない人々に対する銀行サービスへのアクセス促進を目指したソリューションは、全体の収益の中ではわずかな割合に見えます。

## リスクマネジメント・プラクティスにおける改善の可能性

Eコマースの会社として、メルカドリブレは、プラットフォームを通じて販売された商品の配送を集中化させ、また、様々な銀行サービスを提供しています。それ故に、同社は、ITインフラ、ユーザーのプライバシー保護、マーケットプレイスを利用する販売者のモニタリング、銀行サービスの適正価格、過重負債の防止に加え、倉庫における労働環境、輸送(空輸、陸輸)における環境面のフットプリントに関連するサステナビリティ・リスクに晒されています。

同社は、ユーザーの同意やデータへのアクセスなどのいくつかの関連事項を含んだ、同社グループ全般でのプライバシー・ポリシーを確立しています。同社は、顧客の安全を確保するための措置を実施しており、例えば、ソフトウェアのコードの質や安全性のコントロール、分類やプロセスのモニタリングを通じた顧客データ保護の確保を自動的・継続的に行っています。

更に、同社は、クレジット産業向けデータセキュリティ基準の認証を保持しているので、情報セキュリティ管理システム(例:リスク・アセスメント、監査)に係るいくつかの事項も実施されています。しかしながら、同社が、例えば、事業継続管理システムなど、サービスの信頼できる提供の確保のための措置を実施した兆候はありません。従業員関係の課題に関しては、同社は、柔軟な勤務スケジュール、在宅勤務のオプション、法定より良好な出産休暇制度など、ワーク・ライフ・バランスを促進する様々な方策を提供しています。

環境面では、同社は、オンラインでのサービスという性格上、主に、データセンターのエネルギー効率や信頼できるオフィス設備管理に係るリスクに向かい合っています。同社では、オフィスにおける資源の利用・廃棄の削減のための初期的なステップを取られていますが、データセンターのエネルギー効率管理に係る戦略における進展は見られないようです。

記載されている情報は、本文書発行日現在におけるMirovaの意見や状況を反映したものであり、予告なく変更することがあります。本書は運用指図権限の一部を委託するミローバ社のグローバル・サステナブル戦略の理解を深めていただくため、紹介したものです。したがって、上記で言及した銘柄は、あくまでも例示的な目的のためであり売買の推奨や勧誘を目的としたものではありません。例示的な説明のためのものです。

# 主要なインパクト指標の手法

本資料においては、ポートフォリオの戦略と参考インデックスについて、いくつかのインパクト指標が示されています。本資料で提供されている比較スコアについては、ミローバ独自のESG手法がどのように銘柄選択プロセスに組み込まれているかを示すためのものであり、例示的な目的でのみ提供されているものです。したがって、ポートフォリオと、そのようなポートフォリオと比較するインデックスのインパクトの測定の間には、以下に説明するような重要な相違点があります。

本資料におけるインデックスは、ポートフォリオの実際の財務上のパフォーマンスを測定するためのベンチマークとして選ばれた広義の証券市場インデックス(注1)です。ポートフォリオとは異なり、同インデックスの構成銘柄はミローバが適用する方法や分析の結果として選ばれるものではなく、ESGに関連するインパクト指標(例えば、SDGsの達成、気候変動、雇用、ジェンダーの平等への貢献)にフォーカスしたことにより選ばれるものではありません。むしろ、インデックスの構成銘柄は、ESG関連のインパクト測定を適用することなく、今日存在するマーケットを測定・捕捉するために選択されるものです。したがって、ミローバのサステナビリティ・リサーチ・チームの手法をポートフォリオとインデックスの証券の両方に適用したことから導き出される、本レポートに示される比較結果は、ポートフォリオの銘柄がインデックスの銘柄よりも高いインパクトスコアを持つことを示すと考えられます。その比較結果は、この戦略がインデックスよりもパフォーマンスが上回っていることを示すものではないし、上回っていることを示すものではありません。

本資料では、ESG影響指標ごとに、ミローバのアプローチや方法論を詳しくご紹介します。

## ESG評価原則

ミローバは、SDGsのフレームワークに基づいた、独自のESG評価方法を開発しました。当該方法は、ミローバのESG分析を担当する15名以上<sup>2</sup>のアナリストからなるサステナビリティ・リサーチ・チームにより開発されたものです。ミローバの方法は、以下の4つの主要原則に基づいています：

### 1. リスクと機会のアプローチ

SDGsの達成には2つの要素を考慮する必要があり、それらはしばしば相互に補完し合えるものです。

- ▶ (a) 発行体企業が提供する商品やサービスは、SDGsを達成するために、プラスまたはマイナスの異なる貢献をする可能性があります。

- ▶ (b) 持続可能な開発方針の一環として、企業は自らの環境や社会へのイパクトを制限するためにアクション・プランを展開する可能性があります。

### 2. ライフサイクル全体を考慮

環境・社会的課題の分析においては、資産に影響を与えそうな課題を抽出するために、原材料の採掘からライフサイクルの最終段階に至る製品・サービスのライフサイクル全体を考慮する必要があります。例えば、繊維産業においては、サプライヤーの労働条件に強い焦点が当てられていますが、自動車産業で製品を使用する際のエネルギー消費の問題をより重視することになると考えられます。

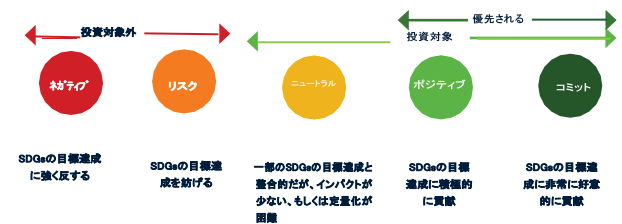
### 3. 対象とする異なる課題

ミローバのリスクと機会の分析は、対象となる資産と社会全体の両方に影響を与える可能性が最も高い課題にフォーカスしようとするものです。さらに、様々な経済的要因が直面する課題は、セクターによって大きく異なり、また、同一セクター内でも大きく異なることさえあります。ミローバの手法は、多くの様々なセクターでの当社の影響力を活用し、国連SDGsの目標に沿った企業戦略の促進を促します。

### 4. 定性的評価尺度

これらの分析の主な成果は、SDGsの達成に係る資産の十分性の水準を評価するための、全体的な5段階の定性的評価尺度を作成することです(以下参照)。この格付の尺度は、SDGsの目標の達成度との関連で定義されているため、全体あるいはセクター別の格付について、事前に用意された特定の分布を仮定しているわけではありません。すべてのミローバの投資は、最も評価の高い資産への投資が優先されますが、少なくともニュートラルの格付けがされています。

## ESGオピニオン



サステナビリティ・リサーチ・チームは、SDGsの目標達成への貢献評価が継続的に正確であることを確保するために、企業情報をアップデートしています。イベントが発生した場合は、アラート・システムにより、必要に応じてESGオピニオンの変更を可能とします。特にイベントが起これば、12か月〜24か月毎に再分析されます。

1. インデックスの構成銘柄は時とともに変化することがあります。
2. 出典: Mirova 2021年12月31日現在。

インデックスとの相違点

参考インデックスから「リスク」または「ネガティブ」と格付けされた銘柄を除外すると、当社のポートフォリオは、インデックスからESG格付けの最も低い銘柄の20%を除外した後の参考インデックスよりもシステムティックに高いESG格付けの平均を得ることとなります。また、ミローバでは、SDGs<sup>4</sup>にとって有害と考えられる活動<sup>3</sup>について、いくつかの除外項目を定義しています。これらの除外は、関連する指標およびエクスポージャーとともに、ミニマムスタンダード・ペーパーに定義されています。したがって、当社のポートフォリオから「リスク」および「ネガティブ」の銘柄を除外することにより、当社のすべての投資プロセスにおいて、リスクに関するインテグレーションを強く行うことを目指しています。

SDGsの目標達成に対する全体的なインパクト

また、ミローバの投資により対応している主なSDGsの課題を表示するために、各資産を「環境」と「社会」のそれぞれ3つの側面から、6つのインパクトのピラー（柱）に分けて全体の評価を行っています。

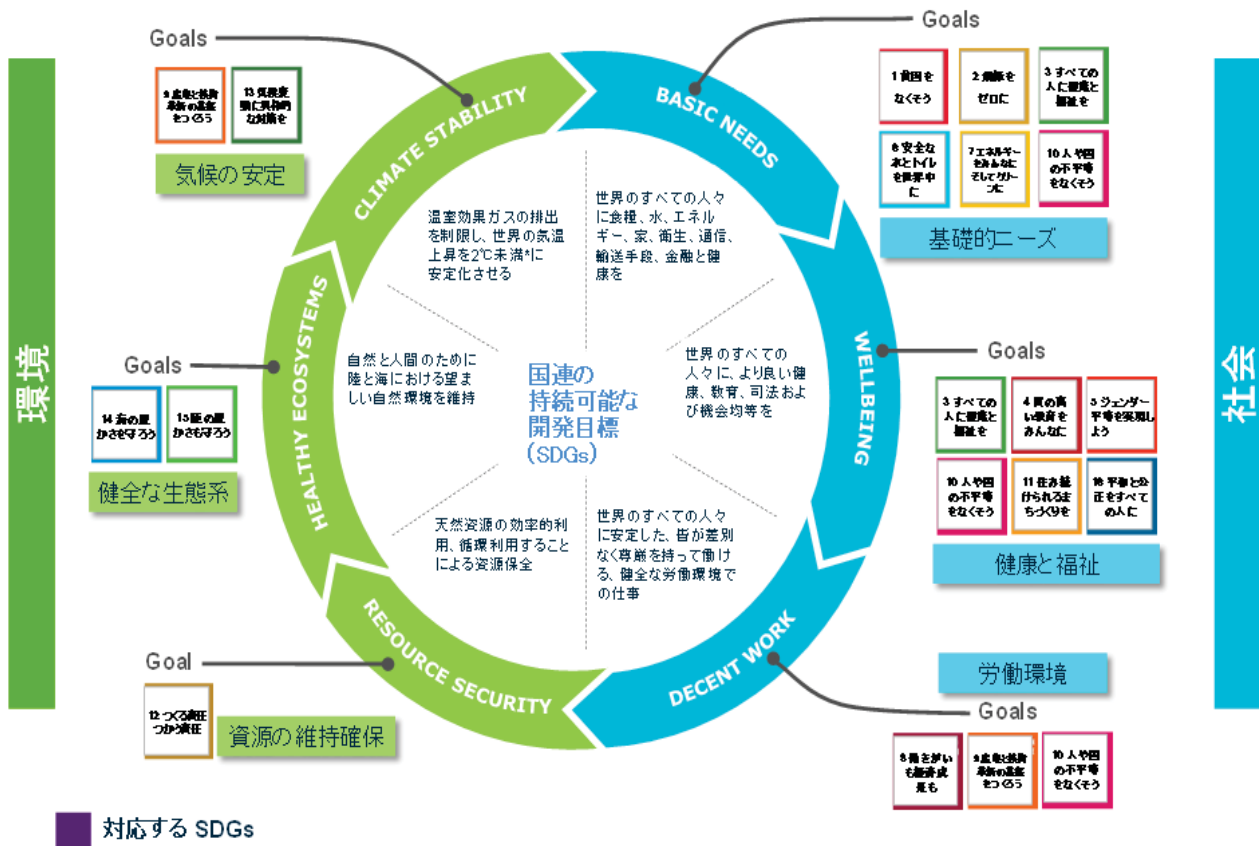
ミローバのピラー評価は、全体評価と同じ分析原則を用いて行われ、コミットメントからネガティブまでの5段階の評価尺度を用いて開発されています。

このアプローチは、SDGsの達成度に関して各資産の充分さのレベルを評価するものであります。

インデックスとの相違点

ミローバは、その企業への投資がサステナブル投資とみなされ、その経済活動が、SDGsの1つもしくは複数の目標達成に前向きに貢献し、かつ/または、1つもしくは複数のSDGsの目標を達成しないリスクを削減することができ、かつSDGsの1つもしくは複数の目標達成を著しく損なうことのない企業にのみ投資を行うことを目指しています。インデックスに採用されている企業の中には、SDGsの目標達成に有害と考えられる活動/商品を有している場合があるため、そうした企業を除外することにより、ESGの観点で最もパフォーマンスの低い株式の20%を除外した後の参考インデックスよりも、システムティックに高いポートフォリオのESG格付けの平均を得ることができます。重要なことは、本インデックスの構成銘柄は、ミローバが適用する方法論や分析の結果として選ばれるものではなく、また発行体企業が1つまたは複数のSDGsの目標達成に何らかの焦点を当てて選ばれるものではないということです。むしろ、本インデックスの構成銘柄は、ESG関連のインパクト測定を適用することなく、今日存在するマーケットを測定・捕捉するために選択されるものです<sup>5</sup>。

地球平均気温上昇(°C)およびカーボンインパクト測定(CO2トン当たり- 誘発・回避されたCO2/企業価値)



2015年に、ミローバとCarbon 4社は、低炭素経済が直面する特定の課題であるカーボン・データを評価する方法である、カーボン・インパクト分析(CIA)を共同で開発しました。

この方法は、主に2つの指標に焦点を当てています:

- ▶ **排出量(誘発される排出量): 企業の直接排出量と供給業者・製品の排出量の両方を考慮に入れ、企業活動のライフサイクルから生じる排出量**
- ▶ **削減量(回避される排出量): エネルギー効率の改善やグリーン・ソリューションによる削減量(回避される排出量)**

各企業は、まず、各セクターに適応した評価フレームワークに従って個別に評価されます。エネルギー生産者、炭素集約型部門(エネルギー、産業、ビル、運輸、農業)、低炭素型ソリューションを提供する企業は、気候への潜在的影響力が大きいため、特に注目します。

次に、各企業の個別炭素評価をポートフォリオレベルで集計し、二重計上を考慮して計算します。

### インデックスとの相違点

ミローバは、最大2°C未満の地球温暖化シナリオに合わせてポートフォリオを調整することを目指しているため、ポートフォリオ・マネジャーは、誘発される排出量が少なく、回避される排出量が高い企業を探します。インデックスは、最大2°C未満の地球温暖化シナリオを考慮するために構成されているものではありません。むしろ、本インデックスの構成銘柄は、ESG関連のインパクト測定を適用することなく、今日存在するマーケットを測定・捕捉するために選択されるものです<sup>6</sup>。したがって、このポートフォリオは、一般的に、最大2°C未満の地球温暖化シナリオに沿ったものとなっています。

### ジェンダーの平等

ミローバは、公開され入手可能な情報(企業のレポートやウェブサイト)から経営メンバーにおける女性の代表に関するデータを収集し、ベンチマークに対してこの基準での戦略のパフォーマンスを分析しています。

この指標は、戦略/インデックスの構成銘柄に属するすべての企業について、企業の経営メンバーに占める女性の割合を平均して算出しています。

### インデックスとの相違点

ミローバは、ジェンダーの多様性を含むESG関連の強固な方針をもつ企業への投資を目指しています。そのことは、必ずしもインデックスには当てはまるわけではありません。

### 雇用

雇用関連データについては、2017年および2020年の期末の会社年次報告書から抽出しています。増減率は、2017年の期末時点を基準として算出しています。

ミローバは、公開され入手可能な情報(企業のレポートやウェブサイト)から労働力統計を収集しています。この指標は、3年間における企業従業員数の年度毎の変化を見ることにより計算されています。これらの数値の平均は、当該企業の従業員数の年平均変化率を表しています。

戦略/インデックス・レベルでの集計は、企業の従業員数の年平均変化率と戦略/インデックスにおける企業のウェイトの加重平均を通して行われます。

### インデックスとの相違点

ミローバは、雇用を含むESG関連の強固な方針をもつ企業への投資を目指しています。そのことは、必ずしもインデックスには当てはまるわけではありません。

ミローバの戦略の詳細については、[Mirova Web サイトwww.mirova.com/en/research/demoting-impact](http://www.mirova.com/en/research/demoting-impact) を参照願います。

6. インデックスの構成銘柄は変化することがあります。



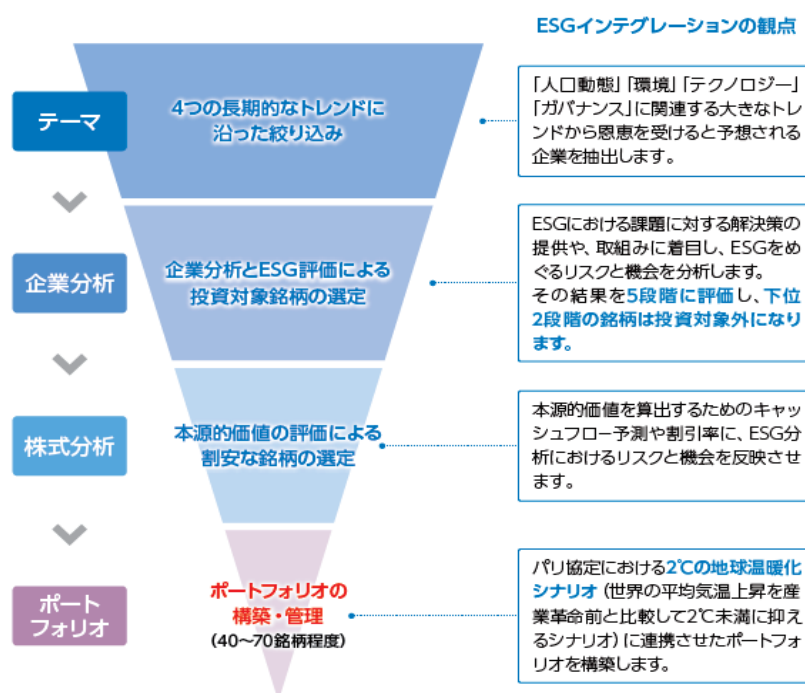
## ファンドの目的

ミローバ・グローバル・サステナブル株式マザーファンド（以下、マザーファンド）への投資を通じて、日本を除く世界各国の株式に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。

## ファンドの特色

- ①将来の世界を形成する4つの長期的なトレンドに伴う課題に解決策を提供できる企業へ投資し、中長期的な運用成果の向上とサステナブル（持続可能）な社会の実現に資することを目指します。
- ②個別企業の戦略的ポジショニング、財務構造、経営者の資質、ESG分析等による質的評価、企業価値評価に基づき、個別銘柄選択を通じてポートフォリオを構築します。
- ③ミローバ・ユーエス・エルエルシー（ミローバUS社）に運用を委託します。サステナブル投資に特化した運用会社であるミローバ社の米国子会社であるミローバUS社に、マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限を委託します。
- ④実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。

### 投資プロセス

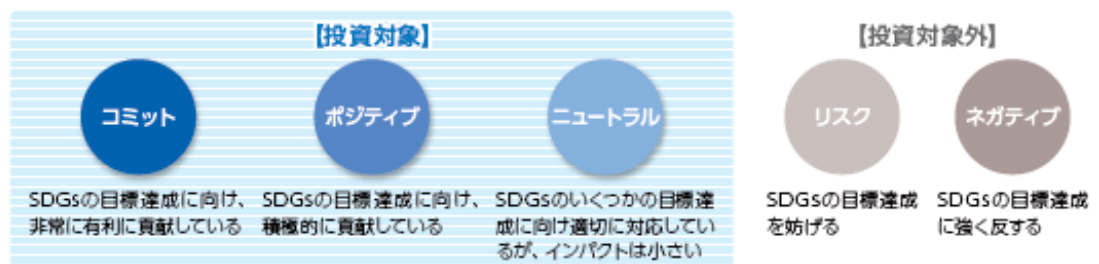


※上記の運用プロセスは、2022年5月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## ESG評価

ESG評価では、環境・社会の観点から6つの項目に分類し、リスクと機会の面から各企業におけるSDGsの目標達成に対する貢献度を評価します。そしてガバナンス面の評価も勘案し最終的に5段階に評価します。5段階のうちリスクとネガティブの銘柄は**投資対象外になります**。



【ESG評価のイメージ】 ▶6つの各項目はSDGsの1つ以上の項目に対応しています。※ガバナンス面の評価も勘案します。

6つの項目		5段階評価	最終評価
環境	気候の安定	温室効果ガスの排出を制限し、世界の気温上昇を2℃未満に安定化させる	ポジティブ
	健全な生態系	自然と人間のために、陸と海における望ましい自然環境を維持	ポジティブ
	資源の維持確保	天然資源の効率的利用、循環利用することによる資源保全	ニュートラル
社会	基礎的ニーズ	世界のすべての人々に食糧、水、エネルギー、家、衛生、通信、輸送手段、金融と健康を	ニュートラル
	健康と福祉	世界のすべての人々に、より良い健康、教育、司法および機会均等を	ニュートラル
	労働環境	世界のすべての人々に安定した、皆が差別なく尊敬を持って働ける、健全な労働環境での仕事	ポジティブ
			ポジティブ

## 2℃の地球温暖化シナリオに連携させたポートフォリオ

ミローバは、2015年にカーボンフォー(Carbone4)社と共同開発したカーボン・インパクト分析(CIA)を通じてCO2排出量・CO2削減量を測定し、企業の脱炭素戦略に対する定性分析も勘案して**パリ協定における2℃の地球温暖化シナリオに連携させたポートフォリオを構築**します。

▶ミローバは、従来の計測範囲(スコープ1~2)からスコープ3に範囲を広げてCO2排出量・CO2削減量等を測定します。

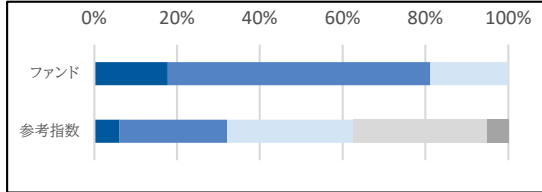


・カーボンフォー社：環境課題の評価・分析を専業とするコンサルティング会社であり、気候変動へ積極的に取り組むフランスの金融機関などと共同で分析手法を開発しています。

# マザーファンドのポートフォリオ状況

2021年12月30日現在

## <ESG評価の内訳>



コミット/ポジティブ  
評価の割合

◁ 81.2%

◁ 32.0%

※参考指数はMSCI KOKUSAI INDEX(ドルベース)です。(以下同様)  
 ※上記グラフにおける参考指数は、INDEX構成銘柄のうち、ミローバ社がカバーしている銘柄(ミローバ・カバー率99%)の内訳を示しています。

### SDGsへの取組み - ミローバの評価

- **コミット** - SDGsの目標達成に向け、非常に有利に貢献している
- **ポジティブ** - SDGsの目標達成に向け、積極的に貢献している
- **ニュートラル** - SDGsのいくつかの目標達成に向け適切に対応しているが、インパクトは小さい
- **リスク** - SDGsの目標達成を妨げる
- **ネガティブ** - SDGsの目標達成に強く反する

## <SDGsへの貢献-コミット/ポジティブの評価>

項目		ファンド				参考指数			
環境	気候の安定 温室効果ガスの排出を制限し、世界の気温上昇を2°C以下に安定させる	32%	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	13 気候変動に具体的な対策を		19%			
	健全な生態系 自然と人間のために、陸と海における望ましい自然環境を維持	34%	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう		10%			
	資源の維持確保 天然資源の効率的利用、循環利用をすることによる資源保全	38%	12 つくる責任 つかう責任			7%			
社会	基礎的ニーズ 世界のすべての人々に食糧、水、エネルギー、家、衛生、通信、輸送手段、金融と健康を	23%	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	10人や国の不平等をなくそう	9%
	健康と福祉 世界のすべての人々に、より良い健康、教育、司法および機会均等を	37%	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	10人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	16 平和と公正をすべての人に	14%
	労働環境 世界のすべての人々に安定した、皆が差別なく尊厳を持って働ける、健全な労働環境での仕事	26%	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10人や国の不平等をなくそう				11%

※上表の数字(%)は、各銘柄について、上表6項目毎にミローバのESG5段階格付けを付与し、各項目において上位格付けである「コミット」あるいは「ポジティブ」が付与された銘柄の割合を示したものです。従いまして、上表数字の合計は100%になりません。



※ミローバより入手した情報を元に作成

- カーボン・フットプリントとは、商品やサービスの原材料の調達から破棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)に換算し「見える化」する仕組みです。
- 個別企業の温暖化の原因とされるCO<sub>2</sub>排出量だけでなく削減量も算出することにより、より効果的な測定方法をカーボンフォー(Carbone4)社とともに独自に開発しました。
- 当ファンドはCO<sub>2</sub>削減に貢献している企業でポートフォリオを構築することで、パリ協定の“産業革命前からの地球平均気温上昇を2°C未満に抑える”目標の達成に貢献します。

2021年12月30日現在

### <カーボン・フットプリント>

グローバルな気候温暖化へのインパクト(ミローバ、カーボンフォー社による推計)

(単位:トン)	ファンド	参考指数
	 1.5°C	 3.7°C
投資先のCO <sub>2</sub> 排出量 (投資金額100万ユーロあたりのCO <sub>2</sub> )	46.3	96.2
投資先のCO <sub>2</sub> 削減量 (投資金額100万ユーロあたりのCO <sub>2</sub> )	30.9	10.0
ミローバ・カバー率	100%	95%

※上表の分析はミローバとカーボンフォー社が共同開発したカーボン・インパクト分析(CIA)に基づく推計データによるものです。

※上表における投資先のCO<sub>2</sub>排出量とは、対象企業の製品、サービス等の全ライフサイクルを考慮した排出量を分析・計測したものです。

※投資先のCO<sub>2</sub>削減量とは、対象企業の製品、サービス等(エネルギー使用)の効率化による削減効果や各種グリーン・インパクトによる削減効果を分析・計測したものです。

※カーボンフォー社は環境課題の評価・分析を専門とするコンサルティング会社であり、気候変動へ積極的に取り組むフランスの金融機関などと共同で分析手法を開発しています。

※最新の情報につきましては、「情報提供資料」にて開示しております。

### <<ファンドの特色>>

1. 将来の世界を形成する4つの長期的なトレンドに伴う課題に解決策を提供できる企業へ投資し、中長期的な運用成果の向上とサステナブル(持続可能)な社会の実現に資することを目指します。
2. 個別企業の戦略的ポジショニング、財務構造、経営者の資質、ESG分析等による質的評価、企業価値評価に基づき、個別銘柄選択を通じてポートフォリオを構築します。
3. ミローバ・ユーエス・エルエルシー(ミローバUS社)に運用を委託します。サステナブル投資に特化した運用会社であるミローバ社の米国子会社であるミローバUS社に、マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限を委託します。
4. 実質組入外貨建資産については、原則として、対円で為替ヘッジを行いません。なお、対米ドルでは、円以外の通貨にかかる外国為替予約取引を行うことがあります。

#### 【サステナブル投資】

ESG(環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の略称)についての考察を投資プロセスに組み込んだ、中長期的な投資アプローチです。

### <<当ファンドの投資リスクについて>>

ファンドは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の値動きなどの影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、これを割り込むことがあります。ファンドは預貯金と異なります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

◀ ファンドの基準価額の主な変動要因 ▶ 株価変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスクなど

◀ その他の留意点 ▶ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

※ 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

### <<ファンドの費用>>

#### ◆ 投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料: 購入価額に**3.3%(税抜3.0%)**を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額  
※ 詳しくは販売会社へお問い合わせください。
- ・ 信託財産留保額: 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.1%**の率を乗じて得た額

#### ◆ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- ・ 運用管理費用(信託報酬): ファンドの日々の純資産総額に**年1.804%(税抜1.64%)**の率を乗じて得た額  
※ 毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。  
※ 委託会社の報酬には、運用委託先への報酬が含まれています。
- ・ その他の費用・手数料: 以下の費用などがファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
  - ・ ファンドの監査費用(ファンドの日々の純資産総額に年0.011%(税抜0.01%)の率を乗じて得た額。ただし年44万円(税抜40万円)を上限とします。)
  - ・ 有価証券売買時の売買委託手数料 ・先物・オプション取引等に要する費用 ・資産を外国で保管する場合の費用

※ ファンドの費用(手数料等)の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



## &lt;&lt;お申込みメモ&gt;&gt;

購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社へお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 ※販売会社へお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から支払います。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みを制限する場合があります。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所が休場日の場合は、購入・換金のお申込みができません。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金申込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	2020年12月29日から2031年1月20日まで（2020年12月29日設定） 受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときなどには、繰上償還されることがあります。
決算日	毎年11月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※収益分配金をそのつど受け取るコースと自動的に再投資するコースがあります。自動的に再投資するコースを選択された場合の収益分配金は、税金が差し引かれた後、決算日の基準価額で再投資されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。



**朝日ライフ アセットマネジメント株式会社**  
**Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
一般社団法人 投資信託協会会員／一般社団法人 日本投資顧問業協会会員